



2021年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年5月10日

上場会社名 株式会社構造計画研究所 上場取引所 東
 コード番号 4748 URL <https://www.kke.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 服部 正太
 問合せ先責任者 (役職名) 専務執行役 (氏名) 荒木 秀朗 TEL 03-5342-1142
 四半期報告書提出予定日 2021年5月10日 配当支払開始予定日 2021年6月7日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年6月期第3四半期の業績(2020年7月1日～2021年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期第3四半期	8,843	5.1	729	38.3	773	63.5	552	83.0
2020年6月期第3四半期	8,410	4.5	527	76.9	473	54.5	301	845.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年6月期第3四半期	107.06	—
2020年6月期第3四半期	58.55	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年6月期第3四半期	15,765	6,381	40.5
2020年6月期	14,932	6,264	42.0

(参考) 自己資本 2021年6月期第3四半期 6,381百万円 2020年6月期 6,264百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年6月期	20.00	20.00	20.00	60.00	120.00
2021年6月期	20.00	20.00	20.00		
2021年6月期(予想)				40.00	100.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2020年6月期期末配当金の内訳 普通配当 40円00銭 記念配当 20円00銭

※2021年6月期(予想)につきましては、合計で100円00銭としており、各四半期毎に配当を行うこととしております。第4四半期の支払額については40円00銭を予定しておりますが、修正の必要が生じた場合には、速やかにご報告させていただきます。

3. 2021年6月期の業績予想(2020年7月1日～2021年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,500	0.5	1,700	△8.4	1,740	△3.2	1,200	△0.4	240.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年6月期3 Q	5,500,000株	2020年6月期	5,500,000株
2021年6月期3 Q	349,823株	2020年6月期	342,311株
2021年6月期3 Q	5,159,190株	2020年6月期3 Q	5,156,759株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

（注）2018年ESOP信託及び2020年ESOP信託、2017年役員向け株式給付信託が保有する当社株式を自己株式に含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(追加情報)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(持分法損益等)	8
3. 補足情報	9
生産、受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、社会とともに目指す未来像・方向性としてソート (Thought) 「Innovating for a Wise Future」を掲げております。ここには、「工学知」をベースにした有益な技術を社会に普及させることで、より賢慮にみちた未来社会を創出していきたいという思いを込めております。「大学、研究機関と実業界をブリッジする」という創業以来の経営理念や、「Professional Design & Engineering Firm」のミッションを追求しながら、将来に向けた新たな価値創造を、当社を巡るステークホルダーの方々と共有してまいります。また当社は、提供するサービスやプロジェクトに対して組織的な品質確保に取り組んでおり、今後も着実な業績達成を目指すとともに、中長期的な視点から組織の質の向上を目指し、所員が研鑽を深められるよう努めてまいります。

当第3四半期累計期間の当社の経営成績につきましては、売上高は88億43百万円（前年同四半期は84億10百万円）、営業利益は7億29百万円（前年同四半期は5億27百万円）、経常利益は7億73百万円（前年同四半期は4億73百万円）、四半期純利益は5億52百万円（前年同四半期は3億1百万円）となり、通期の業績予想に対しての進捗は順調に推移しております。

当第3四半期累計期間における受注高及び受注残高に関しては、上半期から繰り越された受注残高に加え、当第3四半期会計期間において前年同四半期会計期間を上回る33億11百万円（前年同四半期は32億42百万円）の受注を獲得したことにより、72億14百万円（前年同四半期は79億21百万円）と、過年度と比較して同等水準の受注残高を確保しております。

各報告セグメントに関しては、2. (3) 四半期財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）のⅡ当第3四半期累計期間（自 2020年7月1日 至 2021年3月31日）もご参照ください。

当第3四半期累計期間の報告セグメント別の状況は、次のとおりであります。

(エンジニアリングコンサルティング)

当第3四半期累計期間においては、引き続きシステム開発への投資意欲が旺盛な状況を受けて、住宅・建設分野向けのシステム開発業務が堅調に推移しております。また、風力発電関連ビジネスへの需要も底堅く、構造設計コンサルティング業務も順調な状況です。情報通信技術コンサルティング業務につきましても、通信業界における研究開発投資等が活発な状況を受けて堅調に推移しております。その結果、当第3四半期累計期間の売上高は60億82百万円（前年同四半期は60億65百万円）、売上総利益は35億62百万円（前年同四半期は36億92百万円）となり、通期の見通しに沿って順調に推移しております。なお、受注残高につきましては、61億58百万円（前年同四半期は68億18百万円）となっております。

(プロダクツサービス)

当第3四半期累計期間においては、米 Twilio, Inc. のクラウドベースメール配信サービスや独 NavVis GmbHの3次元デジタル化ソリューション、米 LockState, Inc. の入退室管理クラウドサービスが順調に販売を拡大しました。また、電波伝搬解析ソフト、設計者向けCAEソフト及び粒子法流体解析ソフトの販売が堅調に推移しております。その結果、当第3四半期累計期間の売上高は27億61百万円（前年同四半期は23億45百万円）、売上総利益は11億83百万円（前年同四半期は9億30百万円）となり、当セグメントは順調に拡大しております。なお、受注残高につきましては、10億56百万円（前年同四半期は11億3百万円）となっております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて3.7%増加し、60億36百万円となりました。これは、主に仕掛品が6億98百万円、受取手形及び売掛金が4億24百万円増加する一方、現金及び預金が10億3百万円減少したことによります。

固定資産は、前事業年度末に比べて6.8%増加し、97億28百万円となりました。これは、主に投資有価証券が3億11百万円、有形固定資産のその他に含まれる建設仮勘定が3億87百万円増加したことによります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて5.6%増加し、157億65百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて5.1%増加し、47億13百万円となりました。これは、主に短期借入金が4億60百万円、賞与引当金が6億52百万円増加する一方、未払費用が5億20百万円減少したことによります。

固定負債は、前事業年度末に比べて11.6%増加し、46億70百万円となりました。これは、主に長期借入金が3億91百万円、退職給付引当金が1億25百万円増加したことによります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて8.3%増加し、93億84百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べて1.9%増加し、63億81百万円となりました。これは、主に資本剰余金が1億65百万円、その他有価証券評価差額金が1億17百万円、自己株式(控除項目)が1億90百万円増加したことによります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年6月期の業績予想につきましては、2021年2月25日に公表いたしました通期業績予想の数値から変更はございません。今後、通期業績予想の修正の必要が生じた場合には、東京証券取引所の適時開示規則に基づき、速やかにご報告させていただきます。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,014,232	1,010,422
受取手形及び売掛金	1,952,397	2,377,080
半製品	144,340	147,023
仕掛品	678,208	1,376,999
前渡金	278,643	452,639
前払費用	580,874	564,874
その他	219,971	150,997
貸倒引当金	△44,533	△43,182
流動資産合計	5,824,136	6,036,854
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,710,179	1,709,265
土地	3,267,401	3,204,301
その他（純額）	141,810	521,408
有形固定資産合計	5,119,390	5,434,974
無形固定資産		
ソフトウェア	372,390	349,172
その他	57,986	35,053
無形固定資産合計	430,377	384,226
投資その他の資産		
投資有価証券	1,831,165	2,142,276
その他	1,730,835	1,771,230
貸倒引当金	△3,757	△3,757
投資その他の資産合計	3,558,243	3,909,749
固定資産合計	9,108,011	9,728,950
資産合計	14,932,147	15,765,805
負債の部		
流動負債		
買掛金	282,458	346,431
短期借入金	—	460,000
1年内返済予定の長期借入金	694,332	532,672
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
未払金	560,640	778,801
未払費用	748,861	228,046
前受金	1,101,182	1,333,534
賞与引当金	—	652,540
役員賞与引当金	—	70,238
その他	995,716	211,016
流動負債合計	4,483,191	4,713,281

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2021年3月31日)
固定負債		
長期借入金	1,637,839	2,029,711
社債	250,000	200,000
株式報酬引当金	93,561	128,999
退職給付引当金	2,066,986	2,192,564
役員退職慰労引当金	40,000	20,540
資産除去債務	83,583	97,709
その他	12,130	1,423
固定負債合計	4,184,101	4,670,948
負債合計	8,667,292	9,384,229
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,010,200	1,010,200
資本剰余金	1,159,926	1,325,209
利益剰余金	4,760,673	4,785,355
自己株式	△671,629	△862,136
株主資本合計	6,259,169	6,258,628
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,685	122,947
評価・換算差額等合計	5,685	122,947
純資産合計	6,264,855	6,381,575
負債純資産合計	14,932,147	15,765,805

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2020年7月1日 至 2021年3月31日)
売上高	8,410,863	8,843,461
売上原価	3,787,176	4,097,860
売上総利益	4,623,686	4,745,600
販売費及び一般管理費	4,096,310	4,016,130
営業利益	527,376	729,469
営業外収益		
受取利息	16	10
有価証券利息	2,961	16,196
受取配当金	1,528	1,531
仕入割引	2,168	—
投資有価証券運用益	—	61,145
その他	6,017	5,508
営業外収益合計	12,692	84,392
営業外費用		
支払利息	13,464	16,506
社債利息	1,572	1,204
投資有価証券運用損	39,179	—
為替差損	5,066	15,116
その他	7,602	7,581
営業外費用合計	66,884	40,408
経常利益	473,184	773,453
特別利益		
固定資産売却益	—	20,150
投資有価証券売却益	—	5,918
特別利益合計	—	26,068
特別損失		
特別功労金	—	65,000
固定資産除却損	325	2,184
会員権評価損	12,798	—
特別損失合計	13,124	67,184
税引前四半期純利益	460,060	732,337
法人税、住民税及び事業税	229,532	244,015
法人税等調整額	△71,377	△64,026
法人税等合計	158,155	179,989
四半期純利益	301,904	552,347

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症は、経済及び企業活動に広範な影響を与える事象であり、また、今後の拡がり方や収束時期等を正確に予測することは困難であるものの、現時点で入手可能な情報等に基づき、会計上の見積りにおいては新型コロナウイルス感染症による大きな影響はないものとして当第3四半期累計期間の見積りを行っております。

なお、当該見積りは現時点で入手可能な情報等に基づくものであり、新型コロナウイルス感染症の収束時期やその他の状況の経過により影響が変化した場合には、上記の見積りの結果に影響し、今後の財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期 損益計算書 計上額 (注2)
	エンジニアリング コンサルティング	プロダクツ サービス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,065,725	2,345,138	8,410,863	—	8,410,863
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,065,725	2,345,138	8,410,863	—	8,410,863
セグメント利益	2,244,223	299,338	2,543,561	△2,016,184	527,376

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,016,184千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期累計期間(自 2020年7月1日 至 2021年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期 損益計算書 計上額 (注2)
	エンジニアリング コンサルティング	プロダクツ サービス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,082,271	2,761,189	8,843,461	—	8,843,461
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,082,271	2,761,189	8,843,461	—	8,843,461
セグメント利益	2,193,836	575,061	2,768,897	△2,039,427	729,469

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,039,427千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(持分法損益等)

	前事業年度 (2020年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2021年3月31日)
関連会社に対する投資の金額	286,545千円	286,545千円
持分法を適用した場合の投資の金額	238,359千円	222,117千円
	前第3四半期累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2020年7月1日 至 2021年3月31日)
持分法を適用した場合の投資損失(△)の 金額	△47,718千円	△16,241千円

3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第3四半期累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高 (千円)	前年同四半期比 (%)
エンジニアリングコンサルティング	3,217,982	101.2
プロダクツサービス	1,578,669	111.1
合計	4,796,651	104.2

- (注) 1. 金額は総製造費用より他勘定振替高を控除した金額によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第3四半期累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同四半期比 (%)
エンジニアリングコンサルティング	6,933,679	90.2	6,158,096	90.3
プロダクツサービス	2,697,209	114.0	1,056,409	95.7
合計	9,630,889	95.8	7,214,506	91.1

- (注) 1. 金額は販売価額によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第3四半期累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高 (千円)	前年同四半期比 (%)
エンジニアリングコンサルティング	6,082,271	100.3
プロダクツサービス	2,761,189	117.7
合計	8,843,461	105.1

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。